

令和4年度 理科 科  
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
化学基礎	化学基礎	2	A B C D E F	2	必修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・演習・実験
教科書	改訂 化学基礎、東京書籍
使用教材等	四訂版 リードLight化学基礎、数研出版

科目の目標・内容等

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高める。化学の基本的な概念や原理・法則を理解する。
学習における留意点	物質に対する関心を高め、基本的な概念や法則を理解する。物質を探究する方法を身につけるとともにそれらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。
予習・復習	復習に重点をおくこと。
評価方法	定期考査、課題やレポートの提出状況、日頃の学習の取り組み状況等を、総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	○ 化学と人間生活 ○ 物質の構成 1. 物質の成分と構成元素 2. 原子の構造と元素の周期表 3. 化学結合	・人間生活の中の化学 ・化学とその役割 ・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態 ・原子の構造 ・電子配置と周期表 ・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・結晶の比較	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・積極的に実験を行い、科学的に探究する能力が身に付いたか。
2	○ 物質の変化 1. 物質と化学反応式 2. 酸と塩基	・原子量、分子量、式量 ・物質質量 ・溶液の濃度 ・化学反応式と量的関係 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度 ・中和反応と塩の生成 ・中和滴定 ・実験の安全管理	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・積極的に実験を行い、科学的に探究する能力が身に付いたか。
3	○ 物質の変化 3. 酸化還元反応	・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用	・基本的な概念や原理原則が理解できているか。 ・問題演習に意欲的に取り組み、応用力を身に付けることができたか。 ・積極的に実験を行い、科学的に探究する能力が身に付いたか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。